

第174号

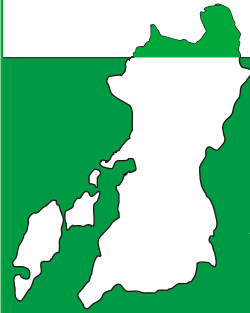
平成27年1月発行

発行所  
熊本県森林組合連合会

〒862-0975  
熊本市中央区新屋敷1丁目5番4号  
TEL (096) 362-3291  
FAX (096) 362-3230

発行人 前川 収  
<http://www.kumamori.or.jp>

JForest 熊本県森林組合連合会



# 森林組合だより

FOREST ASSOCIATION COMMUNICATION PAPER



たか もり どん すぎ  
『高森殿の杉』 所在地：阿蘇郡高森町高森3341-1 高森町指定天然記念物(1976年9月14日指定)  
樹種：スギ 樹高：30m/30m 目通り幹囲：9.3m/5.7m 推定樹齢：400年以上

2本のスギが並び立ち、うち1本は地上1mのところでは枝分れし、それぞれの枝が直径1mを超えている。また小枝の何本かが大きく下に湾曲し、伏条更新をしているなど堂々とした威容に圧倒される。ここは高森城主高森伊予守惟直と家臣三森兵庫守能因の自刃の地と伝えられており、高森殿の名はこの事に由来する。

## 本年もよろしくお願ひ申し上げます

委員 長	熊本 県林業 政治連 盟	他 職員 一同	田 代 亨	監 事	堀 川 泰 注	味 岡 和 國	窪 一	西 坂 栄 樹	外 本 英 治	阿 南 忠 治	専 代表 理事 務事	藤 崎 岩 男	理 副 会 事 長	池 田 和 貴	会 代表 理事 長	前 川 収	熊本 県森林 組合連 合会
---------	-----------------------	---------------	-------------	--------	------------------	------------------	--------	------------------	------------------	------------------	---------------------	------------------	-----------------------	------------------	--------------------	-------------	------------------------

# 新年のご挨拶



## 熊本県森林組合連合会 代表理事 会長 前川 收

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年暮れの衆議院解散総選挙は自民党が圧勝し、安倍政権が継続されることになりました。一方、昨年4月の消費税増税の影響から、緩やかに回復しつつあると見られていた我が国経済は、GDPの伸び率がマイナスで推移したことから政財界に衝撃が走りました。実際、農山村地域では「アベノミクス」の効果を実感するまでには至っていないように感じられます。

このような中、森林・林業・木材産業の状況を見ましますと、低金利の住宅資金貸付や平成26年4月に実施された消費税の3%引上げを受けた駆け込み需要などから供給不足となったスギ、ヒノキの高値市況も、その後やや下落したものの、高値の状態が昨年まで持ち越されました。

また、森林整備実施にとって重要な森林経営計画については、作成しやすい計画制度となるよう見直しを関係機関に働きかけた結果、一部見直しされたところであり、森林経営計画作成により一層積極的に取り組むことが求められています。

森林・林業を取り巻く環境は、人工林資源の充実を

受け木材の利用を中心に大きなうねりとなって変革の時を迎えようとしています。森林組合系統にとりましては、原木素材の出口の確保が重要であるとともに、木材の伐採・搬出に際しての安全管理が重要な課題であると考えております。昨年、県内では林業に絡む作業中に6名の尊い命が失われ、死亡災害全国最悪という由々しき事態となりました。伐採・搬出作業に従事される皆様には、基本に立ち返り、安全確保に留意して頂きたいと思っております。

本会の出口対策としましては、中国への輸出と併せ、更に韓国への輸出も計画するとともに、木質バイオマスの利活用を進めるため、九州各県の連合会と連携した販売ネットワークの確立を目的として協議を重ねるなど、国産材の販路拡大を模索しているところです。

森林組合系統で取り組んでいる森林組合21世紀ビジョン3rdステージ「国産材の利用拡大と森林・林業再生運動」は、平成27年度が運動の最終年度であり、本年もまた組合員の皆様の負託に応え、地域林業・経済の発展に寄与することを念頭に、役職員一同、「明るく、楽しく、元気よく」未来に向かって活発に行動して行く所存であります。

最後になりますが、本年が皆様にとって豊かで輝かしい一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

## 熊本県農林水産部 部長 梅本 茂

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

会員並びに森林組合の組合員の皆様におかれましては、健やかで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、県下各森林組合では主伐や搬出間伐への取り組みを強化されたことにより、販売部門や森林整備部門が好成績となり、3年ぶりに全ての組合が経常利

益を計上されております。また、10月には平成14年以来12年ぶりの合併組合として「くま中央森林組合」が誕生するなど、森林組合の新たな胎動を感じさせられる一年となりました。





さて、本県の24万haに及ぶ人工林資源は、その半数以上が主伐可能であり、これを最大限に活かすことが林業の成長産業化への道筋と考えております。そのため県といたしましても、公共施設の木造化・木質化の推進や木質バイオマスの分野への供給、更には木材の輸出促進など、新たな県産木材の需要創出とともに、森林経営計画の作成支援や林業担い手の確保育成、利用間伐の推進といった林業再生に向けた取組みを進めているところです。また、これに併せて県民の財産である森林を次世代へ守り引き継ぐため「熊本県水とみどりの森づくり税」を活用したシカ被害対策、針広混交林化などの各種の取組みも皆様のご協力を得ながら進めているところです。

このような中、森林組合におかれては、森林整備の中核的担い手として、また、組合員である森林所有者の協同組織として、森林経営計画の着実な作成と実行、低コスト造林の推進といった先導的施策に取り組んでいただくことをはじめとして、地域林業をマネジメン

トできる組合として、ますます発展していただくことを期待しております。

さらに、従事者の育成・確保や労働生産性向上あるいは、労働災害の防止など林業や森林組合を巡る経営上の課題を克服するためにも、貴会並びに会員組合の皆様には、系統の更なる連携により安全で効率的な森林整備の推進と県産材の安定供給体制を再構築する力強い取組みを継続していただき、「稼げる農林水産業」の実現に向け更に御尽力していただきたいと思います。

最後になりましたが、本年が森林組合系統にとって林業再生に向けた一歩として輝かしい年となりますことと併せて、皆様方のますますの御健勝と御活躍を祈念致しまして、年頭の御挨拶といたします。



農林中央金庫 福岡支店 支店長 倉田 幹士

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

森林組合の組合員および役職員の皆様方におかれましては、ご健勝にて新

春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は当金庫の業務に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、いわゆる「アベノミクス」効果により、景気は緩やかな回復基調が続いてきた一年となりました。11月には日銀の金融緩和拡大の動きもあり、日本経済が徐々に回復してきたことを印象付けられたところでもあります。しかしながら、11月末には実質経済成長率が2四半期連続でマイナスになり、再増税が延期になるなど、徐々に景気先行きの不透明感も出てきたところです。日本経済の今後を展望いたしますと、再増税延期問題や、TPP参加問題等の課題も多く、これらは日本経済の今後に大きな影響を与えるものとして、慎重に議論を重ねる必要があるかと存じます。どのような結果になるにせよ、広く

国民が満足できる政権運営が望まれるところであります。

続きまして、林業情勢に目を向けますと、昨年前半においては、材価の高騰や消費増税前の駆け込み需要に伴った住宅着工戸数の増加等で林業界全体に大きな追い風が吹いたことは記憶に新しいところであります。今後も、木質バイオマス発電事業の本格的な始動や、円安や海外の木材需要の増加に伴った木材輸出の増加等、明るい話題が数多くでてくることが期待されており、これらの影響は、今後の国産材需要拡大に向けた起爆剤になり得るものと考えております。

森林組合系統の皆様方におかれましては、この大きなチャンスを逃すことなく、地域林業の担い手として、今後ますますの役割発揮を行いながら、国産材利用の拡大を進められることをご期待申し上げます。当金庫におきましても、森林組合系統発展のため、引続き全力を尽くして参る所存でございます。

結びにあたり、本年が皆様にとって実り多い1年となりますよう祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。



## 全国森林組合連合会 代表理事 会長 佐藤 重 芳

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は、森林組合系統への特段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

げます。

昨年は、広島市の集中豪雨による大規模土砂災害など各地で災害が発生しており、被災地の皆様方に心からお見舞い申し上げます。

さて、地球温暖化防止や国土保全等多面的な機能を有する森林に対する国民の期待はますます高まっていますが、森林を支える林業の構造的な厳しさは一段と増し、山村社会はまさに危機的状況にあり、持続可能な林業経営が可能な立木価格の実現が喫緊の課題となっています。

このような中、本会は、昨年10月に開催された全国木材産業振興大会において、全国木材組合連合会との間で「木材需要の拡大なくして日本林業の活性化は成しえない」という共通認識のもと、全木連と全森連が従来の枠組みを超えて連携し、木材を優先的に活用していく社会の実現を目指す「ウッドファースト社会」の実現に向けた行動宣言を行いました。さらに11月のJForest全国森林組合代表者大会において全木連との再確認を行いました。この宣言を中央での掛け声に終わらせるつもりは毛頭なく、現在、具体的な連携行動の第一歩として県木連と県森連が連携し、各県での木材利用促進常例の制定に向けた取組を進めています。また、同大会では、「ウッドファースト社会」の実現に向け、持続可能な森林管理や国産材利用拡大へ向け国民的理解の醸成を図るとともに、国民的財産である森林の整備や地方創生の柱となる林業の再生に必

要な国・地方予算の確保を決議し、政府・与党に協力に要請したところです。

「ウッドファースト社会」を実現するとともに、森林の二酸化炭素吸収機能の継続発揮や、木質バイオマス発電など増大する木材需要へ対応するためには、齢級構成の均衡のとれた人工林の造成が不可欠です。しかしながら、人工林の齢級構成は、林業経営の厳しい実情から森林所有者の山離れが進んでいることもあり、若齢林が著しく少ない歪な状態になっており、間伐と併せて計画的な主伐・再造林を進め齢級構成の平準化を図らなければなりません。このためには、境界の明確化や担い手の確保、苗木の安定供給、獣害対策など解決しなければならない課題が山積していることも事実ですが、将来に大きな禍根を残すことのないよう、今から手を打たなければならないと考えています。

また、平成23年度にスタートした「国産材の利用拡大と森林・林業再生運動」が最終年度を迎えます。本運動では、施業集約化や国産材の安定供給について一定の成果を挙げているところですが、改革の手を緩めることなく次期運動方針の策定を進めてまいります。

決して忘れてはならないのは、東日本大震災と東電福島原発事故です。3月11日にはあの惨禍から4年目を迎えますが、震災、原発事故を決して過去のものとして風化させてはならないとの思いは変わりません。系統として引き続き復興に向けた取組を進めてまいります。

結びに、本年が皆様方にとり実り多き1年となりますよう祈念申し上げますとともに、森林組合系統の飛躍の年となりますよう皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

## 『くらしと人権』 =気づこう、そして考えよう=



熊本県人権啓発  
マスコットキャラクター  
「コッコロ」



### 「人権」とは

人は誰でも自分らしく、そして幸せに生活するという基本的な権利を生まれたときから持っています。この権利を「人権」といいます。



### 「人権問題の解決」のためには

私たち一人ひとりが、相手の立場に立って考え、自分の言動に責任を持つことが重要です。

「熊本県では、結婚や就職の際の部落差別につながるような身元調査が条例で規制されています。」

# 森林・林業振興に必要な予算の確保のための要望活動

林政連(前川委員長)は平成26年10月22日(水)に、県に対し以下のとおり予算の確保などを要望した。

- 1 県産材需要拡大対策
- 2 造林・間伐等森林整備事業の拡充
- 3 皆伐施業の推進
- 4 集約化の促進
- 5 担い手の育成
- 6 森林のシカ等被害対策
- 7 森林認証材の普及
- 8 森林組合の育成強化対策
- 9 GPS機器・ソフト統一のための助成措置

また、平成26年11月5日(水)には、県選出の国会議員立会のもと、林野庁長官に対して以下のとおり予算の確保を要望し、その後、林野庁幹部との勉強会を実施した。

- 1 出口対策
  - (1) 需要拡大に向けた推進
  - (2) 林地残材等未利用材の利用促進
  - (3) 森林認証制度の運用
- 2 担い手対策
- 3 林産物の価格安定対策等
  - (1) 木材価格の安定化対策
  - (2) 原木シイタケの風評被害対策
- 4 皆伐に対する助成措置及び皆伐後の再造林に対する施策の拡充
- 5 シカによる森林被害防止等対策の推進
- 6 森林経営の集約化対策
- 7 林業専用道に係る助成制度の継続
- 8 森林整備加速化・林業再生基金事業の延長・拡充
- 9 治山対策



熊本県蒲島知事に要望書を手交する前川委員長



県選出国会議員と共に今井林野庁長官に要望書を手交する前川委員長



林野庁幹部と林政連委員との勉強会



# 各種研修会の開催

## 監事研修会

平成26年12月19日、グランメッセ熊本において、県内森林組合の監事57名の参加のもと監事研修会を開催しました。監事からの質問もあり、充実した研修となりました。

内容は次のとおりでした。

- ・常例検査の視点について（県検査室）
- ・森林組合監事の役割と監査実務について（全国森林組合連合会）
- ・森林組合法に基づく理事・監事の職務と職責について（県農林団体指導班）
- ・監査士監査から（熊本県森林組合連合会）



## 施業管理者研修

1月21日及び12月5日に、施業管理者を対象に研修会を開催しました。

機械化が進む昨今、人の動きや機械の稼働状況を時間管理し、生産性を貨幣価値に換算することで、施業管理者が常にコスト意識を持つことをねらいとして、田代中小企業診断士を講師に招き、林業施業におけるコスト管理(変動比率・限界利益率・損益分岐点等)についての研修を行いました。



平成26年11月21日(1限目)



平成26年12月5日(2時限目)

## 森林情報管理における最新技術研修



■ 連合会のホームページに、マルチコプター(ラジコンヘリ)の空撮映像をアップしています。

平成26年10月21日、熊本県林業研究指導所において、県及び森林組合関係者など26名が参加し、ICT(インフォメーションアンドコミュニケーションテクノロジー)を取り入れた林業を目指すため、研修会を開催しました。

研修会では、レーザースキャナと通信技術を活用したICT林業、オルソー画像作成、航空レーザーのデータ活用、最新のGISなど、日々新しい技術について研修するとともにラジコンヘリの空撮実演がありました。

これからの林業経営に有効な最新技術の一端に触れる研修会でした。

# かかり木処理作業で やってはいけない5つの行為!!



### ① かかっている木の伐倒

かかり木がいつ落ちてくるかわからず、大変危険です。



### ② 浴せ倒し

伐倒木やかかり木が、予期しない方向に跳ねたり、二重のかかり木になったりして大変危険です。



### ③ 元玉切り

切り離れたとき、かかっている木が落ちたり、滑ったりして大変危険です。



### ④ 木の肩担ぎ

かかり木を肩で担うと、木の重量が作業者にかかり、外れた木の下敷きになったり、外れた木が滑落して、それにまき込まれたりします。特に急斜地では危険です。

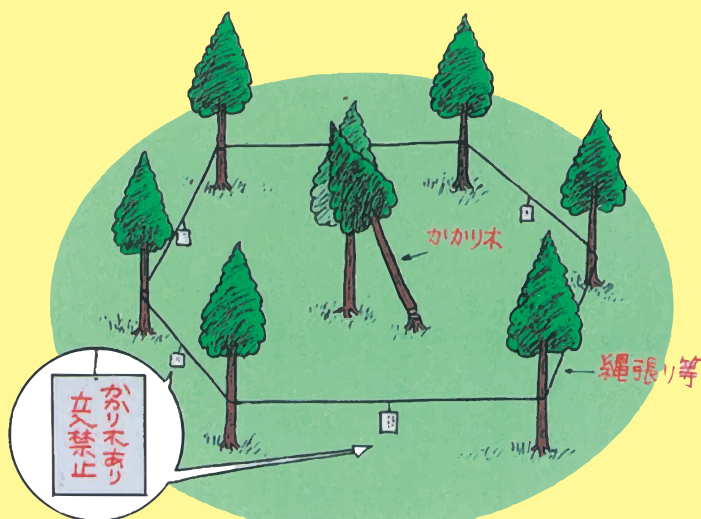
### ⑤ かかっている木の枝切り

かかり木が外れる時に転落することがあり大変危険です。



かかり木を一時的に放置するときは…  
縄張り等による

**立入禁止措置**を行いましょう。



## 適切な機械器具等の使用

### フェリングレバー



### けん引具



【林災防協会『安全なかかり木処理作業』より】



# 新組合長挨拶



阿蘇森林組合  
代表理事組合長  
**阿南 忠治**

この度、今村前組合長の後任として、平成26年7月の理事会において代表理事組合長に就任いたしました。

当組合が所管する地域は、「世界農業遺産」に続き「世界ジオパーク」に認定され、「世界の阿蘇」として脚光を浴びており、当組合としては森林整備の推進と併せ、地域文化の伝承・自然保護などを積極的に進めたいと考えております。

当組合としても、多様化する木材の需要に対応するため、生産体制の構築が急務となっております。中長期計画と併せ具体的な方針を来年度の事業計画作成までに作成することとし、特に作業者の育成に向けた検討を進めております。

今後も、役職員一丸となり、林業の活性化に向けて努力して参りますので、より一層のご指導とご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



くま中央森林組合  
代表理事組合長  
**東 生 吾**

くま中央森林組合は、人吉市、中球磨、山江村の三組合が平成26年10月1日に合併し誕生致しました。その初代組合長ということで、改めて身の引きしまる思いです。

この合併により、管内の民有林面積は30,929haで県内5位となります。また、組合員数は、1,951名で県内7位、出資金106,444千円で県内7位の森林組合となりました。

今後は、「中核森林組合」として経営計画、施業プランナーの充実育成、また効率的な施業を行うための高性能林業機械の導入及び林道、作業道の開設などにより育林、間伐、造林事業での経費削減に努め、組合員に信頼され、組合員のために貢献できる森林組合として役職員一体となり、行政とともに地域林業の発展と安定的な組合運営を進めてまいりたいと考えております。

今後とも、皆様方のご指導をいただきますようお願いいたしますとともに、皆様方のご繁栄を祈念致しまして挨拶と致します。

平成27年4月1日から  
**森林国営保険**が  
独立行政法人  
**森林総合研究所**  
へ移管されます!!



- 森林は、風害、水害、山火事などの災害にあう危険があります。
- 森林保険は、森林所有者自らがこのような突然の災害に備える唯一のセーフティネットであり、重要な公的保険です。
- これからも森林保険に加入しましょう!

移管時点で有効な契約は森林総研に自動的に引き継がれます (必要なお手続きはありません)

## 熊本県下森林組合原木市況

(平成26年12月)

### スギ販売市況

長さ	末口径	直材 単価(円)	曲り材 単価(円)
3 m	16~18cm	15,100	12,700
4 m	10~13cm	11,200	8,200
4 m	14~22cm	13,500	10,300
4 m	24~28cm	13,700	10,800
6 m	18~22cm	19,200	17,000

### ヒノキ販売市況

長さ	末口径	直材 単価(円)	曲り材 単価(円)
3 m	16~18cm	18,600	16,800
4 m	10~13cm	11,400	8,500
4 m	14~22cm	18,500	15,800
4 m	24~28cm	16,800	14,300
6 m	18~22cm	30,000	25,000